「手入力データの保存から復帰の方法」

JP法研究会 富士栄

JP法株価分システムには、オリジナルデータを手入力し、それをソフトで表示する機 能が備わっています。 他社の株価分析ソフトでは、みられない機能の1つです。

しかし、せっかく手入力して溜めたデータも何かの都合でデータが壊れ、データ入れ替 えをしてしまうと、全部パーとなってしまいます。

または、データが壊れていなくても、最新のデータをCDから入れてしまうと手入力デ ータは、なくなってしまいます。 ※厳密にいうと残っている事のほうが多いのですが、今回は解説しません。

これを避けるためには定期的なバックアップが必要になるわけですが、やり方が分からない、という向きもいらっしゃる事でしょう。

そこで今回は簡単なバックアップモドキの方法と、データをCDから入れ替えた後、手 入力データを元に戻す方法を解説していきます。

■保存の方法 「株価修正」を使う

わたしは個人的にコード番号**1200番**に日銀がETFを買った日を手入力しています。 「株価修正」からみるとこんな感じです。

留 株価修正							- 6	1	×
日足 週 銘柄コード 月	足 月足 200 日銀	として 施TF買いE	送 書	込 印 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	2017/04 2017/04 2017/04 2017/04	/05 /06 /07	ç sv	終了	
日付	始値	高値	安値	終値	出来高	権利	落		-
2017/03/31	1537	1540	1513	1513	0		0		
2017/04/03	1519	1524	1512	1517	0		0		
2017/04/04	1513	1514	1496	1505	725		0		
2017/04/05	1510	1513	1498	1505	0		0		
2017/04/06	1497	1500	1477	1480	725		0		
2017/04/07	1 4 9 1	1499	1478	1490	0		0		
2017/04/10	0	0	0	0	0		0		
2017/04/11	0	0	0	0	0		0		
2017/04/12	0	0	0	0	0		0		
2017/04/13	0	0	0	0	0		0		
2017/04/14	0	0	0	0	0		0		
2017/04/17	0	0	0	0	0		0		
2017/04/18	0	0	0	0	0		0		
2017/04/19	0	0	0	0	0		0		
2017/04/20	0	0	0	0	0		0		
2017/04/21	0	0	0	0	0		0		
2017/04/24	0	0	0	0	0		0		-

4本値はTOPIX、出来高の項目にETF買いの金額を手入力

まずこのデータをバックアップ、保存するには、「CSV」をクリックします。

日足データの場合

下記の意味は、[C:¥WinJPDta]フォルダに[D1200.csv]という名前でデータを保存する、 という内容となります。

このままの状態で[OK]をクリックします。

CSV形式∧変換		×
表示してある株価をテキスト す。	ファイル(CSV形式)へ変換しま	ОК ++>teル
C:¥WinJPDta¥D1200.csv		

※同じハードディスクなので厳密にいうと、バックアップにはなりません。通常USB ※メモリへの保存ですが、今回はバックアップモドキなので、このまま話を進めます。

たったこれだけの作業で、日足の手入力データは保存されました。 簡単でしょう?これなら、1週間に1回程度は出来るのではないでしょうか?

続けて週足のデータを保存します。

「週足」をクリックし、週足データを表示させ日足の時と同じように「CSV」をクリックします。

下記の画面となります。週足なのでファイル名は[W1200.csv]となっています。 このままの状態で[OK]をクリックします。

CSV形式∧変換		×
表示してある株価をテキスト す。	ファイル(CSV形式)へ変換しま	ОК ++>>te/L
C:¥WinJPDta¥W1200.csv		

次は月足です。同様の手順を踏んでください。ファイル名は[M1200.csv]となります。

CSV形式∧変換	×
表示してある株価をテキストファイル(CSV形式)へ変換します。	ОК
	キャンセル
C#WinJPDta#M1200.csv	

ここまでの手順で、無事コード番号1200の日足・週足・月足データが保存されました。

では、本当に保存されているか見てみましょう。

エクスプローラから[Cドライブ]の[WinJPDta]フォルダの中身を見るとこうなっていま す。 確かに[D1200.csv], [W1200.csv], [M1200.csv]がありますね。

📕 🛛 🔁 📕 🗢 🛛 WinJPDta			- 🗆 🗙
ファイル ホーム 共有	表示		~ 0
← → ~ ↑ <mark>.</mark> « □-	·カル ディスク (C:)	WinJPDta →	VinJPDta 🔎
 ◇ OneDrive ○ PC ◆ ダウンロード ○ デスクトップ ○ ドキュメント ○ ビクチャ ○ ビクチャ ○ ビテオ ◇ ミュージック ニ ローカル ディスク (C ボリューム (G:) 	 M1200.csv W1200.csv D1200.csv D1200.csv SHINYO.ZAN Index8 Index6 Index6 Index7 Index4 Index5 Index3 Index2 Index1 ETCCode.TBL 	 M0Code.TBL T0Code.TBL T1Code.TBL T2Code.TBL TENCode.TBL O0Code.TBL O1Code.TBL O1Code.TBL O2Code.TBL 300Code.TBL 300Code.TBL dImessage.csv highcodenotdiv1000.csv KARAURI.TBL ShnCode.TBL 	 GyoComent1000.csv CALSFT.DAT Date.day Date.wek Date.mon Holidays ComType.TBL Monthly.FLG Weekly.FLG D M W
43 個の項目 状況: 🎎 共	隆] GYOSEKI.DAT 有	🛎) bps.dat	

ここで例えば、最新データをCDから入れます。

息 株価データインス	⊱-)↓	- 0	×
株佃	i分析システム・データインス	トール	
開始	株価データをインストールする場所 C:¥WinJPDta¥ (変更する場合は入力し直して下さい。)		

このデータ入れ替えの作業が行われると、JP法ソフトのデータから手入力データがな くなります。(※実際は見えなくなる)

■枠をつくる 「銘柄管理」を使う

データの入れ替えが終了したら、手入力データの枠を作ります。

この作業は「銘柄管理」で行います。

通常、手入力データは1000番台に登録するはずですから、1000番台を表示させ ます。

ここに「1」と入力し、エンターキーを押します。

/ 1000番台の銘柄一覧が表示されます。 下へスクロールさせていくと、確かに1200番がありません。

▲ 銘柄管理			×
1千番台表示			
読込 変更 削除 書込 終了		一括削	除
□ 追加する銘柄 コード番号、銘柄名を入力後「追加 □ ード 路柄名	りをク	リックしま	をす - カロ
1114/TOPIXミニ先物2限 1115/東証REIT指数 1150/全成			
1151/合成 1 1152/合成 2			
1153/合成 3 1154/合成 4 1155/合成 5 - 1200 番がありません			
1156/合成 6 1157/合成 7 1200 留7 60 7 1200 日7 7 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200			
1283/上昇初期 1284/上昇中 1284/上昇中			
1285/押し目底確認 1286/保合局面 1287/空売り			
1290/百足検索結果 1298/日足空気り 1998/日足空気り			
1299/日疋貝い 1301/極洋 1305/ETFTPX			
1306/TOPI×投信 1308/上場TP×			~

それでは、1200番の枠をつくっていきましょう。

追加する銘柄の項目にコード番号、銘柄名を入力し、「追加」をクリックします。

🔓 銘柄管理		~		×
1千番台表示				
読込 変更 削除 書	込 終了		一括削	除
「追加する銘柄」コード番号、銘 コード <mark>1200</mark> 銘柄名日銀	柄名を入力後「追 ETF買い日	動しをク	リックしま 追	ま 加
1113/TOPIXミニ先物1限 1114/TOPIXミニ先物2限 1115/東証REIT指数				^
1150/合成 1151/合成 1 1152/合成 2				
1153/合成3 1154/合成4 1155/合成5 1158/合成6				
1157/合成 7 1282/買転換 1283/上昇初期				
1284/上昇中 1285/押し目底確認 1286/保合局面				
1287/空売り 1290/日足検索結果 1298/日足空売り				
1299/日足頁い 1301/極洋 1305/ETFTPX				
306/「OPIX投15 1308/上場TPX				~

「はい」をクリックします。



「OK」をクリックします。



1200番、「日銀ETF買い日」がつくられました。

🔓 銘柄管理			×
1千番台表示			
読込 変更 削除 書込 終了		一括肖	喺
」追加する銘柄 コード番号、銘柄名を入力後「追カ コード1200 銘柄名日銀ETF買い日	山をク	リックしま [通	ます 一 加
1200/日銀ETF買い日 1209/冒転換			^
1282/頁報決 1283/上昇初期 1284/上昇中			
1204/エチャ 1285/押し目底確認 1286/保会局面			
1200/保留局面 1287/空売り 1200/日兄倫園結果			
12307日と快添福米 12987日足空売り 12007日足買し、			
1299/日准員() 1301/極洋 1995/日本日本日本			
1305/ETFTPX 1306/TOPIX投信			
1308/上場TPX 1309/上海上証50連動			
1310/タイワコア30 1311/TPX-Core30			
1312/RN小型コア投信30 1313/サムスンKODE30			
1314/SP日本新興株100 1319/日経300投信			
1320/ETF225 1321/225投信			
1322/上場バンダ			~

これで枠は出来ましたので銘柄管理は終了します。 次は、先程保存した1200番のデータをJP法ソフトへ戻す作業です。

■手入力データの復帰 「テキストファイル変換」を使う

手入力データの保存→枠を作成と解説してきました。

次は最後の手順である手入力データの復帰方法です。

JP法メインメニューの左列、上から7番目の「テキストファイル変換」をクリックします。

このように表示されます。

■ テキストファイルー株価データ	<u></u>	×
読み込みフォルダ+ファイル名 C:¥WinJPDta¥		
書き込み先銘柄コード番号		
実行中止・日足の週足の月足		

まず日足データを復帰させます。

下記のように入力後、「実行」をクリックします。

読み込みフォルダ+ファイル名には C:¥WinJPDta¥D1200.csv

書き込み先銘柄コード番号には 1200

書き込み種別は 「日足」を選択

「実行」をクリックします。

■ テキストファイルー株価データ	<u></u>	×
読み込みフォルダ+ファイル名 C:¥WinJPDta¥D1200.csv		
書き込み先銘柄コード番号 1200		
実行 中止 書き込み種別 ・日足 ・週足 ・月足		

メッセージに「終了しました。」と表示されれば成功です。

■ テキストファイルー株価データ		×
読み込みフォルダ+ファイル名 C:¥WinJPDta¥D1200.csv		
書き込み先銘柄コード番号 1200		
実行 中止 書き込み種別 ・日足 の週足 の月足		
終了しました。		

続けて週足を復帰させましょう。

読み込みフォルダ+ファイル名には C:¥WinJPDta¥W1200.csv

書き込み先銘柄コード番号には 1200

書き込み種別は 「週足」を選択

「実行」をクリックします。

■ テキストファイルー株価データ	<u></u>	旧	×
読み込みフォルダ+ファイル名 C:¥WinJPDta¥W1200.csv			
書き込み先銘柄コード番号 1200			
実行 中止 「日足」「週足」「月足」			
終了しました。			

次は月足です

読み込みフォルダ+ファイル名には C:¥WinJPDta¥M1200.csv

書き込み先銘柄コード番号には 1200

書き込み種別は 「月足」を選択

「実行」をクリックします。

■ テキストファイルー株価データ	<u>111</u> 1	<u>الل</u>	×
読み込みフォルダ+ファイル名 C:¥WinJPDta¥M1200.csv			
書き込み先銘柄コード番号 1200			
実行 中止 C日足 の週足 「月足」			
終了しました。			

これで作業は終了です。

本当に手入力データが復帰出来たかどうか確認してみましょう。

「株価修正」を使います。

1200番、確かにデータが入っています。

1 株価修正					- 142) ×			
日足 週足 月足 読込 書込 印刷 2017/04/05 2017/04/06 2017/04/07 終了 銘柄コード 1200 日銀ETF買い日 週足変換 月足変換 CSV										
日付	始値	高値	安値	終値	出来高	権利落	<u> </u>			
2017/03/31	1537	1540	1513	1513	0	0				
2017/04/03	1519	1524	1512	1517	0	0				
2017/04/04	1513	1514	1496	1505	725	0				
2017/04/05	1510	1513	1498	1505	0	0				
2017/04/06	1497	1500	1477	1480	725	0				
2017/04/07	1 4 9 1	1499	1478	1490	0	0				
2017/04/10	0	0	0	0	0	0				
2017/04/11	0	0	0	0	0	0				
2017/04/12	0	0	0	0	0	0				
2017/04/13	0	0	0	0	0	0				
2017/04/14	0	0	0	0	0	0				
2017/04/17	0	0	0	0	0	0				
2017/04/18	0	0	0	0	0	0				
2017/04/19	0	0	0	0	0	0				
2017/04/20	0	0	0	0	0	0				
2017/04/21	0	0	0	0	0	0				
2017/04/24	0	0	0	0	0	0	-			

数銘柄なら、このやり方で大丈夫ですが、数十銘柄もあると手順がかなり面倒です。 今のところ、多数の手入力データを一括で処理する方法はありません。